

政策コメンテーター報告(第1回)(意見照会期間:2017年4月10日～4月19日): 武山 政直 慶應義塾大学経済学部教授

質問事項		記述式回答
個人消費の動向		
1	個人消費の動向をどうご覧になっていますか。また、そのような動向となっている要因やメカニズムについて、お考えをご教示ください。	
消費の活性化		
2	消費を活性化するためには、どうしたらよいとお考えでしょうか。	先行きへの不安や、モノの所有に対する欲求の低下等から消費が伸び悩んでいると考えられる。一方で、社会の環境変化や長寿化を前提として、個人の自己投資的消費(知識や技能の習得やレベルアップなどを目的とした支出)は今後高まっていくことが予想される。そのような自己投資型消費を奨励、促進することは、単なる消費の喚起にとどまらず、総活躍社会の実現や、国民の幸福度の上昇にも寄与するものと期待できる。政策的には、長寿社会における各ライフステージにおける自己投資の重要性の認識を促す広報やイベントの開催、自己投資を目的とする消費に対する奨励金や減税などがありうる。また、自己投資の発想からの商品やサービスの開発、個人の能力開発やスキルアップ支援のためのIoTの活用など、企業側の創意工夫や努力も求められる。
プレミアムフライデー		
3	効果	
	早帰りを促すための工夫	
	本取組を消費拡大につなげるための工夫	
	本取組を続けていくための工夫	
	その他	